

1月22日(土)	13:30-15:30 カフェさくさぽ「10年後の佐久を考える～山～」 場所：野沢会館ホール
2月6日(日)	13:00-15:30 佐久平高大生応援フェス2021 佐久平地域まるとキャンパス報告会 場所：佐久平交流センター第5会議室
1月20日(木) 2月17日(木) 3月17日(木)	いずれも 13:30-15:00 毎月第3木曜開催! おしゃべり会 場所：市民活動サポートセンター

※タイトルや内容、開催時期は変更となる場合があります。開催日時等の詳細は決定次第、さくさぽフェイスブックページ・ホームページ・さくさぽ窓口で順次、発信・告知します。参加の際は、電話もしくはメールでの事前申し込みをお願いします。

今後の予定



さくさぽ



SAKU でつながる市民活動・協働のチカラ ～市民活動交流会を開催～



写真協力：取出町公民館写真教室 めだかの学校 会長 篠原道雄さん

さくさぽアルバム～最近の市民活動風景から～



【若手保健師 ワークショップ】
高齢者福祉課と連携し、さくさぽから保健や子育て関係の市民活動を紹介



【おしゃべり会！ 役員さん！】
区長や役員による意見交換会。継続希望の声が！



【ゆるりうんどうかい @大沢小学校】
大沢地区文化財保存会とコラボし72名が参加。シニア大学と作った「方言ラジオ体操」も！



【佐久平地域 まるとキャンパス「SAKUフェス」】
佐久平交流ひろばで高校生がステージ企画に挑戦！

季節の話題

「スキー」

M.作



もうすぐ雪の季節になります。雪は美しい六角形の結晶の形で降ってきます。氷の分子は六角形をしているからですが、雪の結晶の形は色々と温度、湿度や落下速度により決まります。従って、同じ形は二つとないそうです。「雪は空からの手紙」と言われますが、空の気候の状況を我々に教えてくれています。ロマンチックですネ。雪といえば私はスキーを思い出します。私は移住者なので、スキーを始めたのは大学生になってからです。1960年代後半です。靴はようやく紐から脱出、板の材質はわかりません。初めてのスキーは確か野沢温泉で、友人から板を借りて教わりながら滑りました。初めは調子よく、「そのまま行け」と言われて滑っていましたが、そのうち「あー、転べー」という叫びに代わっていました。自由に転べるくらいならとくに滑れるはずですが、そのうち「ガーン」という衝撃と共に転んでおり、そばには墓石の頭が見えまじった。後から聞くと相当凄い状況だったようです。怪我はなく、勿論板は折れていました。それ以来暫くの間、スキーに行くときは頼みも少ないのになぜかその友人がついてきて、いつも近くで滑っていました。

多様な機関や団体の協力を得るには？若者など多世代に参加してもらうには？協働って何？ そんな悩みに答える講座と交流会を11月21日に開催しました。

事例紹介1人目のゲストは長野市出身、18歳の大学生・株式会社 Gabの北村優斗さん。テレビから発想を得て、ゲーム性のあるゴミ拾いイベント「清掃中」を企画。「使命感や正義感を直接訴えるより、ワクワクを伝えるほうが人を惹きつける」と企画のコツを話しました。

続いて神津任さんと柳沢弘文さんから「渋沢栄一“第二の故郷” 探偵団」の事例紹介。「佐久歴史の道案内人の会」や「内山キラキラプロジェクト」「佐久藍染」など複数の団体と協働でイベントを実施した経験を振り返り、「個人の想いをさくさぽに相談したことで多くの仲間と繋がった。『協働』のメリットは、得意分野やアイデアを持ち寄ることによって発想の幅が広がり、たくさんの人と繋がったこと」と語りました。どちらの事例も「出会いを大切に」、「ワクワクする企画を楽しく伝える」、「相談してみる」がキーワード。

後半は参加者から出たテーマ「子育て・環境・歴史・サロン・健康」に分かれ、お互い活動紹介しながら交流会。参加者からは「出会いからコラボの話に繋がった」「地区の課題も協働の発想でやると良い」とうれしい感想を頂きました。



協働でオオキンケイギク(特定外来種) 駆除活動をした岩村田高校の池内彩斗さん(左)と佐久市環境政策課の木次経之さん(右)

機関紙についての感想・ご意見はこちらへお寄せください↓ ※記載の情報は2021年12月時点の情報です

<編集・発行>

佐久市市民活動サポートセンター

〒385-0043 長野県佐久市取出町183 野沢会館2階
開館時間：9時～20時・月曜休館(祝日の場合は翌火曜休館)

TEL: 0267-64-6362 FAX: 0267-64-6363

Eメール: sakusapo@sakunet.ne.jp

ホームページ: http://www.sakusapo.com/

Facebook: https://www.facebook.com/sakusapof/



ホームページ



Facebook

イベントレポート

さくさぽで主催したイベントの報告です。内容を詳しく知りたい方はお問合せください!

8/29 コミュニティマネジメント講座

「withコロナ時代の市民活動・地域活動のあたため方」をテーマに、NPO法人CRファクトリー代表の呉哲煥さんを講師にオンライン開催。ワークでは「コロナ時代の活動における工夫」をテーマに、使っているオンライン会議ツール、リアルな場を設ける際の感染対策など、それぞれの取り組みについて共有しました。



参加者は18人。初めてオンラインに挑戦した方も!

10/21 カフェさくさぽ ~10年後の学び~ 勉強だけが「学び」じゃない!

ゲストは学生向け配信番組『アス学』を主宰する信州大学4年の井出雪月さんと、学校以外の学びを探究する長野県立大学4年の川向思季さん。実践・人との出会いから学ぶ二人の姿勢に「刺激を受けた!」と参加者。



ゲストの2人はオンラインで登壇



動画はこちら

11/10 市民活動・NPOとは? 地域の先輩に聞く継続のコツ!

ゲストは長土呂で障がい者支援事業を展開するNPO法人「たんと」理事の内藤弘文さん。後半はさくさぽスタッフ栗津から法人格の選び方やNPO設立要件などを説明。どんな活動も、誰かの「やりたい」気持ちと、一歩踏み出すことから始まります!



「あなたが取り組みたい課題は?」ワーク中に参加者と談笑する内藤さん



動画はこちら

センター長 山室のつぶやき

生物多様性に迫る危機



気候危機と同様、生物多様性も危機にさらされているという。現在、地球上の生物種の絶滅のスピードは自然状態の約100倍~1000倍にも達し、たくさんの生きものが危機に瀕している。日本も例外でなく、①開発や乱獲②里地里山の手入れ不足③外来種の持ち込み④地球環境の変化による4つの危機が迫る。いずれも私達人間活動の影響が主な原因のようだ。11月、佐久市境の神津牧場でイベントを開催した。アナグマの巣穴、キツネなどの糞、大量のミミズを観察しながら、牧場として維持されてきた草原環境に生きる「いのちのつながり」を実感するプログラムだ。勉強会では、近年里山が荒廃しシカの個体数が増加、生態系を脅かしていると学んだ。また飼われているジャージー牛の2倍、約400頭のシカが牧草を食い荒らし、その被害額は年間2000万円にもものぼり、経済活動にも甚大な影響がでているという。私達の日常は、里地里山と縁遠くなってしまった。里山の環境が変化しても生活に支障がないと思っている人も多いのではないだろうか。でも人間も生態系の一部であり、その危機は「自分ごと」なのだ。イベントなどをきっかけに環境を自ら守っていく意識を高め、必要なアクションをしていきたいものだ。

市民活動クローズアップ

新型コロナウイルスに負けない! 佐久地域発の元気な市民活動をご紹介します。みなさんの周りではどんな活動がありますか? ぜひ、さくさぽまで情報をお知らせください!

『常和復興まちづくり協議会』 ~感謝をこめて復興大根収穫祭~

2年前の台風19号災害の際に支援してくれたボランティアに感謝の気持ちを届けようと、「復興大根」収穫祭を昨年より実施。常和区の団結力は強く、災害復旧、防災、公園環境などのチームをつくり、災害からの復旧・復興活動を行っています。収穫祭もその一つ。常和が元気になり、自分たちや子どもたちも将来にわたって安心して住み続けられるまちづくりを目指した活動が、市のまちづくり活動支援金事業の最優秀賞を受賞しました。



【連絡先】 会長 鈴木 双一郎さん (090-3347-8188)
副会長 野沢 勇太郎さん (電話 090-8329-6764 メール y.nozawa2377@yk.commufa.jp)

『SDGs ワークショップサポート』 ~身近な事からSDGsを学び、考える~

子どもから大人までゲーム感覚で楽しく学べるイベントを対面やオンラインで開催しています。ワークショップでは気づきや、SDGs(国連が定めた持続可能な開発目標)のアクションへ向けた意識醸成も。季節の変容や農作物への影響、自然災害への不安の声も飛び交います。「桜の開花が早くなったのはどうしてか?と地球で起きていることに疑問をいだき、それが私たちの行動と繋がっていることに気付いてほしい」と馬場さん。



【連絡先】 馬場 美穂さん (ji901912@yahoo.co.jp)



市民活動団体とは?

市民の自主参加で活動に取り組む団体のことです。NPO法人、区等の自治会、PTA等の組織、趣味の会やサークルも含まれます。佐久市の市民活動団体として登録すると、行政など幅広い層に活動を知ってもらえます。登録ご希望の方はさくさぽまで! (現在の登録団体数: 216団体)

ワンポイントアドバイス

さくさぽでは市民活動に関するご相談をお伺いします。団体の運営、広報、協働についてなど、専門性のあるスタッフが解決に向けて一緒に考えます。これから活動を始めたい方も歓迎です。ぜひお気軽にご相談ください!

ご相談

一部の役員に負担が集中し、団体内で役割分担がうまくいきません…。

アドバイス

今活動に参加しているメンバーがどんな気持ちで、何を求めて参加しているか、改めて聞いてみてはいかがでしょうか? それぞれの参加動機にあった役割を担ってもらおうと良いかもしれません。ボランティア組織の運営についてノウハウをまとめた本もあります。さくさぽの本棚にもありますのでお手にとってみてください。